

(様式 2)

遺伝性乳癌卵巣癌総合診療施設認定申請書

(新規・**更新**・区分変更) (連携施設)

新規・更新・区分変更のいずれかを選択下さい。

一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構 施設認定部会長 殿

下記について申請致します。

西暦 2000 年 00 月 00 日

診療責任者 氏名 (フリガナ) 東京 太郎

部署

役職 〇〇ダイガクイガクブゾクビョウイン イデンシンリョウブ 印

〇〇大学医学部附属病院 遺伝診療部 部長/教授

e-mail :

連絡窓口担当者

部署・氏名 (フリガナ)

e-mail :

各施設における HBOC 診療における実施医師 (遺伝・乳腺・婦人科いずれの所属でも可) の代表を記載して下さい。

診療責任者・連絡窓口担当者の e-mail は必須項目

診療責任者とは別の担当者にして下さい。

施設・機関名	〇〇大学医学部附属病院
所在地	〒〒000-0000 東京都xxxxxxxxxx TEL : 〇〇〇 FAX : △△△
(フリガナ) 施設・機関の長 役職・氏名	〇〇ダイガクイガクブゾクビョウイン ヨコハマ イチロウ 〇〇大学医学部附属病院 院長 横浜 一郎 公印
<p>②③承認書には施設・機関長の公印があるものを提出</p> <p>※ 欠落のないようご確認の上ご提出ください</p> <p>※ 押印が必要な書類は押印後スキャンしたデータで提出してください</p> <p>※ 申請書類は書式変更不可</p> <p>※ ②or③, ④は必須です</p> <p>※ ①,⑤,⑦~⑫の書類はいずれも必須です</p> <p>※ 専門医証書は新たに認定する有効期間内に於いて有効であること (新年度の4月1日時点で有効な証書)。(専門医更新申請中の場合は、申請が受け付けられたことが分かる書類が必要です。)</p>	<p>① 連携施設要件 (別添 1)</p> <p>② RRM 院内実施承認書(倫理委員会等)の写し(実施の場合は有効期限内の書類)</p> <p>③ RRSO 院内実施承認書(倫理委員会等)の写し(実施の場合は有効期限内の書類)</p> <p>④ RRM、RRSO の保険診療の施設基準に係る厚生局の受領書の写し</p> <p>⑤ 専門医(臨床遺伝, 乳腺, 婦人科腫瘍該当分)</p> <p>⑥ 認定遺伝カウンセラー®の認定書の写し</p> <p>⑦ 実施医師・協力医師・認定遺伝カウンセラー®の履歴書 (別添 3, 4, 6)</p> <p>⑧ 教育セミナー受講証書の写し(初回受講書と更新受講書(更新してる場合))</p> <p>⑨ 実施医師・協力者リスト (別添 2 に記入のこと) ※実施医師・協力者はセミナー受講が必須</p> <p>⑩ 遺伝学的検査外注検査契約書 (表紙と押印部分、BRCA1/2 遺伝子検査項目記載箇所), あるいは自施設で検査を行っている場合は施設長の実施証明書の写し (別添 5) (新年度の4月1日時点で有効な契約書) ※随時契約の場合は納品書または請求書(発注したことが分かる書類)</p> <p>⑪ BRCA1/2 遺伝子検査の施設基準に係る届出 (様式 23 の 3) に対する厚生局の受領書の写し</p> <p>⑫ 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療施設連携協定書</p>

施設・機関長の公印を押印して下さい。

⑧は、⑨に記載されている実施医師・協力者・認定遺伝カウンセラー®全員分